

「アール・ヌーヴォーと浅井忠のデザイン教育」開催記念



写真【浅井忠】

福知山市・福知山公立大学 / 京都工芸繊維大学包括協定締結記念シンポジウム 美術から見た「近代」—新しい時代が求めたもの—

京都工芸繊維大学の前身校のひとつである京都高等工芸学校は、明治35年（1902）に京都の伝統産業の近代化をバックアップするための官立学校として開校します。設立にあたっては、関係教員がヨーロッパの工芸教育の視察に行きました。ちょうど、1900年のパリ万国博覧会が開催されていた時期で、ヨーロッパは、アール・ヌーヴォーと呼ばれる新しい芸術活動がまさに全盛期を迎えていました。教員たちは、アール・ヌーヴォーの様式を示す工芸品やポスターなどを教材として購入してきました。それらの資料類は、いまは貴重な美術工芸品として京都工芸繊維大学美術工芸資料館に収蔵されています。

このたび、福知山市・福知山公立大学と京都工芸繊維大学が包括協定を結んだことを記念して、美術工芸資料館が収蔵する4万点をこえる資料のなかから、アール・ヌーヴォーを代表する作品を集めて、展覧会を開催することとなりました。

本シンポジウムは、この展覧会の関連事業として企画しました。明治時代以降の日本の、そして、とくに京都の近代化の様相を、美術という切り口から見てゆこうとする試みです。歴史の教科書などで習う日本の近代史には、あまり美術工芸のことがでてきません。このシンポジウムでは、どうしてこのような作品が明治時代に収集されるようになったのか、それが教材としてどのように活用されたのか、そんなことをわかりやすく説明してゆきたいと思います。それが、これまで見落とされてきた美術工芸という視点から見た近代について考えるきっかけになればと思っています。後半では、近代の歴史をご専門とする福知山公立大学の井口学長をお迎えして、明治という新しい時代がなにを求め、なにを目指したかを、できるだけわかりやすい見方で探っていきます。

このシンポジウムが、美術工芸品の背景として歴史を知る機会となれば幸いです。お気軽にお越しください。

日時：2017年3月4日（土）14:30-17:00

入場無料

場所：福知山公立大学4号館1階103講義室

※申し込み不要

プログラム

- 14:00 開場
- 14:30 開会挨拶
- 14:40 京都工芸繊維大学の成立と美術工芸資料館所蔵資料—近代京都の美術工芸—
並木誠士（京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長）
- 15:20 展覧会の紹介（展覧会企画担当）
野海智子・芦高郁子（京都工芸繊維大学大学院博士前期課程価値創造領域）
- 15:50 <休憩>
- 16:00 トークセミナー 美術から見た「近代」—新しい時代が求めたもの—
井口和起（福知山公立大学学長）/ 並木誠士 /
八瀬正雄（福知山市地域振興部まちづくり推進課）
- 17:00 閉会挨拶

ワークショップ 4月4日（火）13:00-15:00

アール・ヌーヴォー風のブックカバーを作ろう!

アール・ヌーヴォーの特徴のひとつ、動植物のモチーフや曲線はどういうふうにならされているのでしょうか。アール・ヌーヴォーのさがけとなったウィリアム・モリスの連続模様のように、上下左右に連続できるようなひとつのパターンを作り、それをトレースして一枚の連続模様を作っていきます。できあがった紙製のブックカバーはお持ち帰りいただけます。

どなた様でもご参加いただけます。※小学校低学年以下は保護者同伴

場所：福知山市佐藤太清記念美術館2階展示室

持ち物：ブックカバーをつけたい本（文庫本サイズ）

定員15名（先着）

ワークショップ参加へは事前申し込みが必要です。佐藤太清記念美術館までお問い合わせください。

問い合わせ&ワークショップ申し込み先：

福知山市佐藤太清記念美術館 京都府福知山市字岡ノ32-64 TEL/FAX: 0773-23-2316 <http://fukuchiyama-artmuseum.jp>

共催：福知山市/福知山公立大学/福知山市佐藤太清記念美術館/京都工芸繊維大学/京都工芸繊維大学美術工芸資料館